

## 国語科 丁寧な言葉遣いに関する指導の事例

事 例	丁寧な言葉遣いに関する指導	
児童生徒 について	学部等	中学部
	障がい名等	知的障がい、自閉症
	生徒の主な 実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パターン化した会話においては、「～です」「～ます」を付けて話すことはできるが、日常会話で意識して話すことが難しい。</li> <li>・周りの影響を受けやすく、乱暴な言葉遣いを真似たりする。</li> <li>・教師に対しても友達に話すような話し方をする。</li> </ul>
	行動の見方 ・考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や場面に応じた言葉遣いや、言葉のレパートリーが少ない。</li> <li>・初めての活動で緊張していたり、イライラしたりした時に乱暴な言葉遣いになりやすい。</li> </ul>
支援の実 際や変容 な ど	<p><u>○丁寧な言葉遣いの大切さについて指導する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントを使用しクイズ形式で問いかけたり、友達から乱暴な言葉で話された場面を取り上げ、その時の気持ちを考えたりしながら、丁寧な言葉遣いがなぜ大切なのか伝える。日常生活の中で実際にあった場面を取り上げたり、高等部進学や、高等部卒業後の職業生活について触れたりしながら進めることで、学習意欲を高める。</li> </ul> <p><u>○自分の話し方を振り返る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の様子をあらかじめ撮影しておき、普段の自分の話し方について振り返る時間を設ける。</li> </ul> <p><u>○相手や場面に応じた丁寧な言葉遣いを考える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、学習前に丁寧な言葉遣いのキーワード「～です」「～ます」などの文字カードを提示し確認する。</li> <li>・日常生活や職業生活で活用できそうな場면을提示し、相手や場面に応じた適切な言葉遣いを使った台詞を、キーワードを意識しながら考えるように言葉かけをする。考えた台詞を発表し学級全体で共有する。慣れてきたら、日常生活や職業生活で活用できそうな場面の4コマ漫画の台詞をグループで考え、教師と一緒にロールプレイで確認する。台詞を考えるワークシートは、生徒の実態に応じて、ヒント無しのもの、台詞の中が一部空欄のもの、選択肢ありのものを準備すると、生徒が取り組みやすい。</li> </ul> <p><u>○丁寧な言葉遣いでインタビュー活動をする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な言葉（「～ですか」）を用いて身近な人の話を聞いたり、聞き返したり（「もう一度お願いします」「もう一度教えてください」）しながら、日常生活で生かしていけるようにする。</li> </ul> <p>〈変容〉日常生活の中で、丁寧な言葉遣いを意識しながら話したり、自分で語尾をどのような言い方にするか丁寧な言葉遣いになるのか考えたりしながら話す姿が見られるようになった。また、自分で乱暴な言葉で話したことに気づき、言い直すことができるようになった。</p>	